施工業者様用

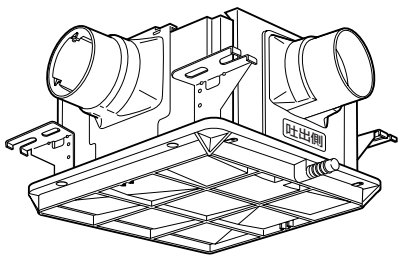
Panasonic

工事説明書
中間ダクトファン

VU-10

＜サニタリー用ファン多室用＞

品番 FY-18DPKC1BL



入っているか、確認してください！

お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品　末尾の数字は数量をあらわします。

防振ゴムNO.1（吊り金具用）	4
防振ゴムNO.2（吊り金具用）	4
ワッシャー（吊り金具用）	8
シール	1
取扱説明書（必ずお客様にお渡しください）	1

同梱品　末尾の数字は数量をあらわします。

吸込アダプター	2

接続ドレンパイプ（市販品）

内 径	種　　類
φ12	軟質塩化ビニル
φ15	
φ13	硬質塩化ビニル

接続ダクト（市販品）

呼び径	種　　類
φ100（4番）	塩化ビニル管（VU,VP）
	アルミフレキダクト
	ステンレス鋼管

・この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意……2〜4
各部の名前と寸法 ……5
取り付け参考図 ……5
施工方法 ……6〜10

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■仕様変更・改造は絶対にしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

■交流100ボルト以外で使用しない

禁止

火災・感電の原因となります。

■内釜式風呂を設置した浴室に取り付けない

禁止

排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

■D種接地工事をおこなう

アース線接続

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

⚠注意

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう

誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■浴室内に電源スイッチを設けない

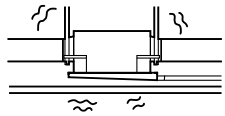
禁止

湿気により、感電することがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

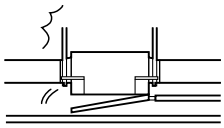
落下により、けがをするおそれがあります。

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する



落下により、けがをするおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける

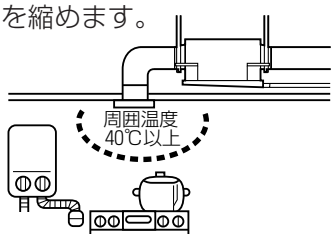


落下により、けがをするおそれがあります。

お願い

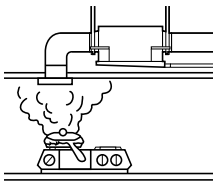
■高温になる場所に取り付けないでください。

製品の変形やモーターの寿命を縮めます。



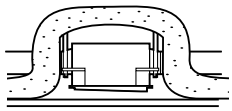
■台所など、油煙の発生する場所やベンジン、シンナーなどの有機溶剤がかかる場所では使わないでください。

吸込グリルなどの破損の原因となります。



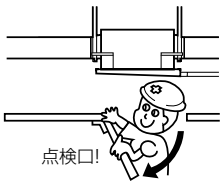
■本体を断熱材で覆わないでください。

電源の接続が不完全な場合漏電の原因になります。



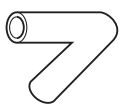
■点検口を設けてください。

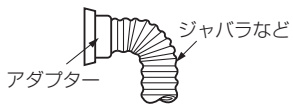
保守点検ができません。



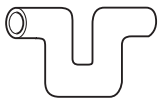
■次のような配管工事はしないでください。

(1)極端な曲げ　(2)吐出口すぐそばでの曲げ





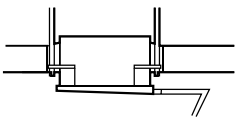
(3)多数回の曲げ　(4)接続ダクト径を小さくする



お願い

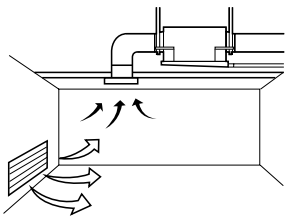
■ドレンパイプを折らないでください。

結露水が流れません。



■給気口を設けてください。

効果的な換気ができません。

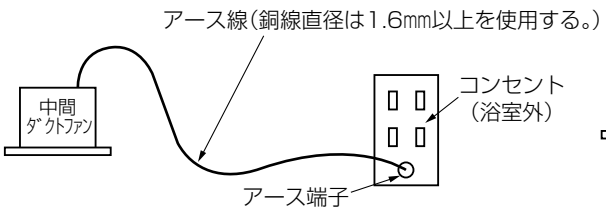


■温泉や殺菌用塩素を使用する公衆浴場などには取り付けないでください。

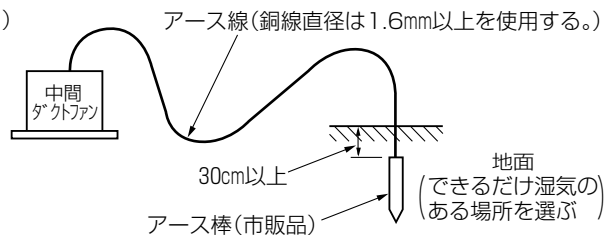
故障の原因となります。

■アース工事をする場合は、次のいずれかの方法でおこなってください。

コンセントのアース端子にアース線を接続する場合

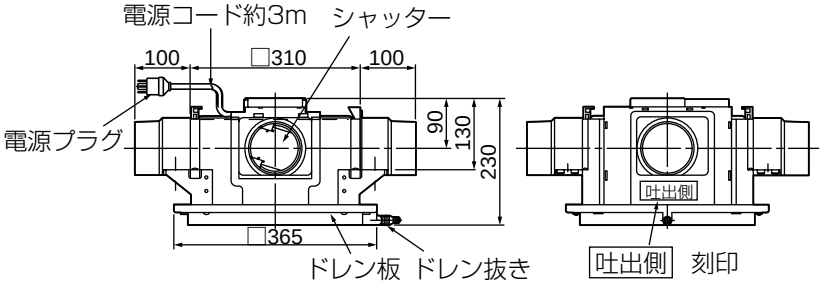


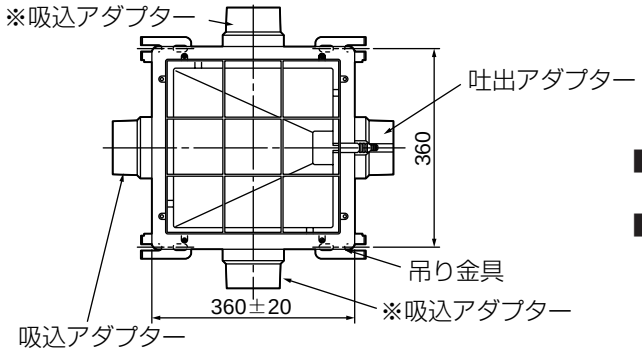
アース棒を使用される場合



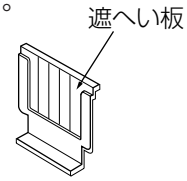
各部の名前と寸法

単位：mm

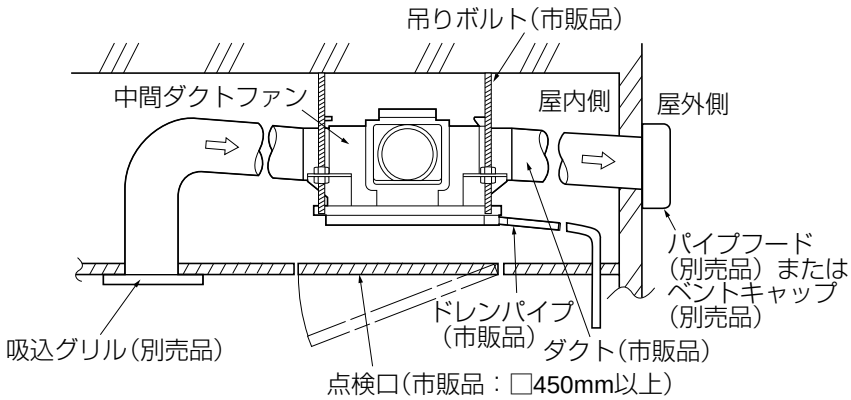




■出荷時はストレートの1室用にセットされています。
■出荷時は※印の付いた吸込アダプターの部分に下図に示す遮へい板がセットされています。



取り付け参考図



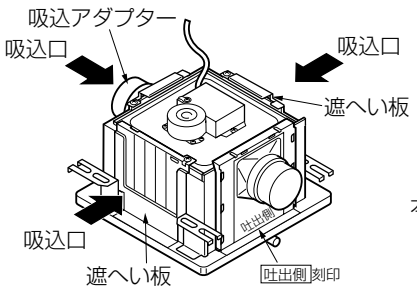
■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。(勾配1/100～1/50)
雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。
■ドレンパイプの勾配は排出側へ1/100以上としてください。
■ドレンパイプの排水は浴室等にしてください。

施工方法　以下の手順に従って施工してください。

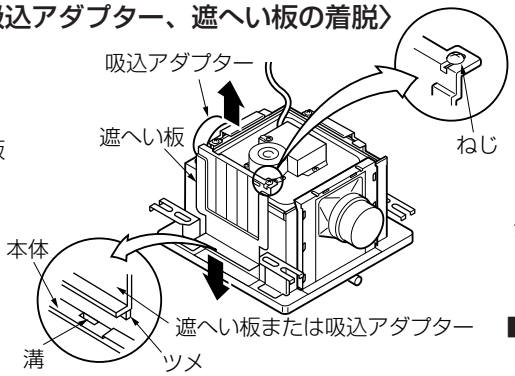
取り付け前の準備

部屋の位置より吐出方向（吐出側刻印）に対して吸込方向を3か所～1か所（3室換気～1室換気）を決め、吸込口が必要な部分には吸込アダプターを吸込口が不要な部分には遮へい板を取り付ける。

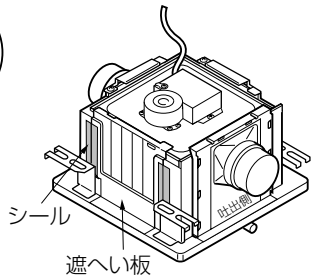
〈出荷状態〉



〈吸込アダプター、遮へい板の着脱〉



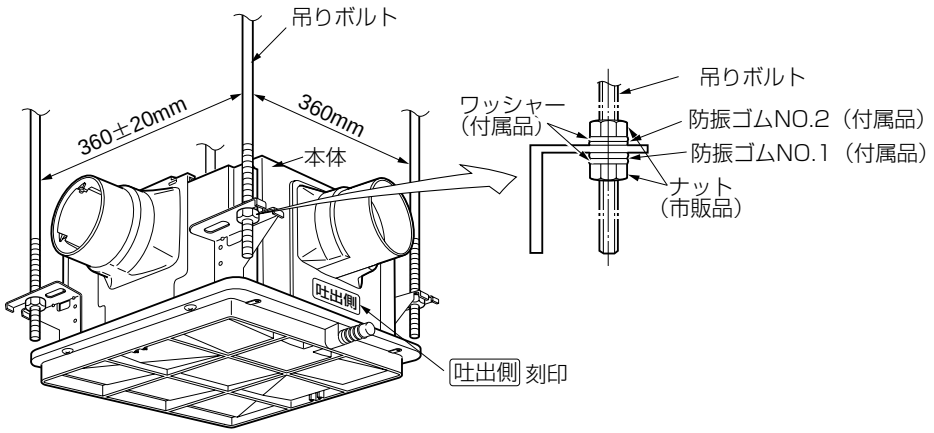
■遮へい板または吸込アダプターのツメを本体の溝に確実に入れる。
■遮へい板を固定しているねじ（1個）を取りはずし、遮へい板と吸込アダプターを取り換えて取りはずしたねじで固定する。



■遮へい板を取り付ける場合（2室換気～1室換気）はシール（付属品）を図に示すようにはる。
（1個の遮へい板に対して2か所シールをはる）

本体の取り付け

本体取り付け寸法に合わせ吊りボルト（市販品：M8～M10）を設置し、本体を吊りボルトに取り付ける。

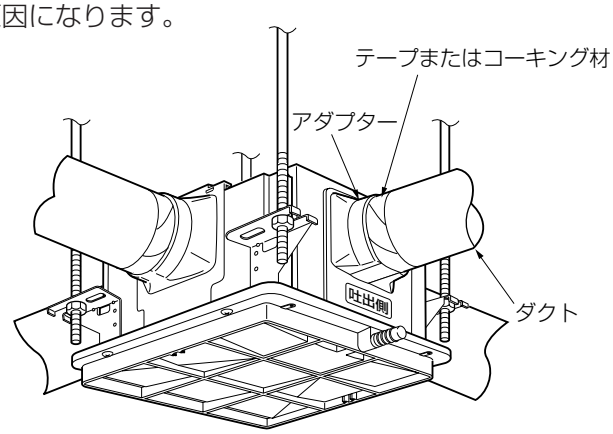


■吐出側と吸込側をまちがえないようにしてください。

ダクト取り付けとドレン処理

①ダクト（市販品）をアダプターに差し込み、テープ（市販品）またはコーキング材（市販品）で確実に密封してください。

■風漏れや水漏れの原因になります。

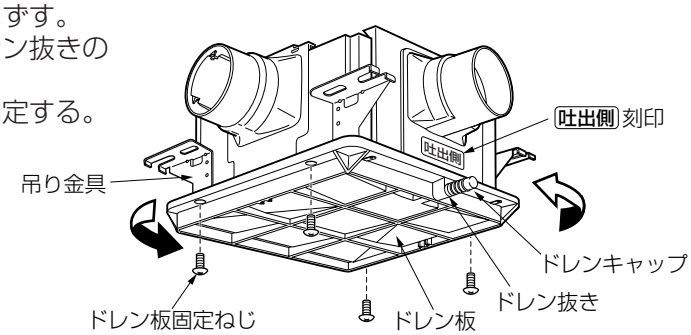


②ドレン抜きの方向を設定する。

■ドレン板をはずしてドレン抜きの方向を変更してください。（出荷時は吐出側に位置しています）

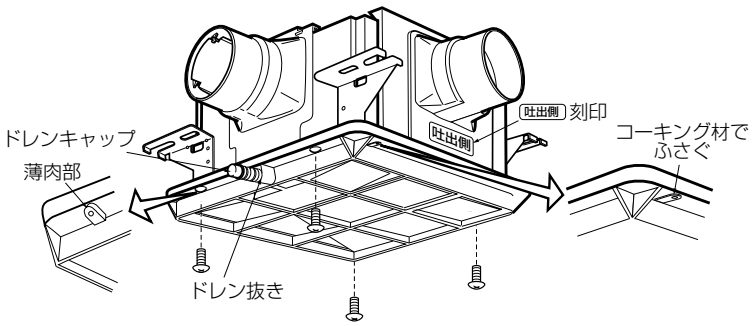
（1）ドレン抜きの方向を180°変更する場合

（ア）ドレン板固定ねじ（4個）をはずす。
（イ）ドレン板を取りはずし、ドレン抜きの方向を180°変更する。
（ウ）ドレン板固定ねじ（4個）で固定する。



（2）ドレン抜きの方向を90°変更する場合

（ア）ドレン板固定ねじ（4個）をはずし、ドレン板を取りはずす。
（イ）ドレン板の薄肉部（4か所）にドレン板固定用ねじ穴をあける。
（ウ）ドレン抜きの方向を90°変更し、ドレン板固定ねじ（4個）で固定する。
（エ）不要なねじ穴を水が漏れないようにコーキング材（市販品）でふさぐ。

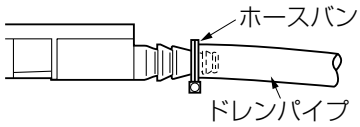


施工方法（続き）

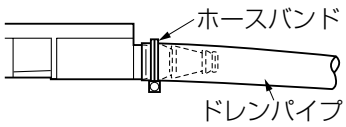
③ドレンキャップをはずし、ドレンパイプ（市販品）を接続する。

（ドレンパイプは勾配1/100以上とする）

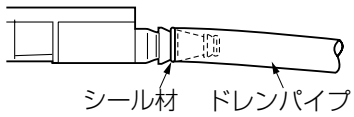
●ドレンパイプが軟質塩化ビニル管(内径φ12)の場合



●ドレンパイプが軟質塩化ビニル管(内径φ15)の場合



●ドレンパイプが硬質塩化ビニル管(内径φ13)の場合



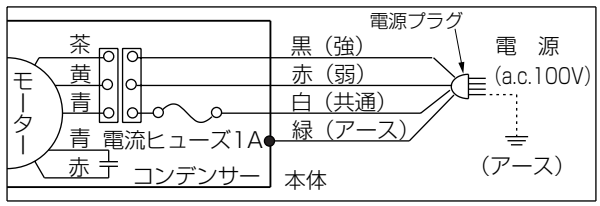
■ドレンパイプは、ドレン抜きより低位置に水がたまらないように配管してください。

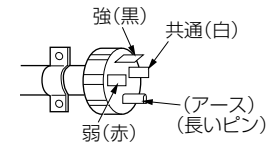
■ホースバンド（市販品）やシール材（市販品）などを使って接続部から水が漏れないように工事してください。

電源の接続と天井板のはり付け

①結線図に従って正しく結線する。

結線図





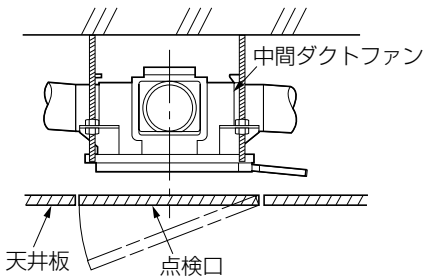
電源プラグ：パナソニック（株）製
（WF5415）

■1個の電源スイッチで2台以上を並列運転する場合は、リレーユニットFY-RBS05（別売品）を使用してください。リレーユニットの結線図はリレーユニットの工事説明書をお読みください。（リレーユニットを使用しないとモーターが過熱し故障の原因となります）

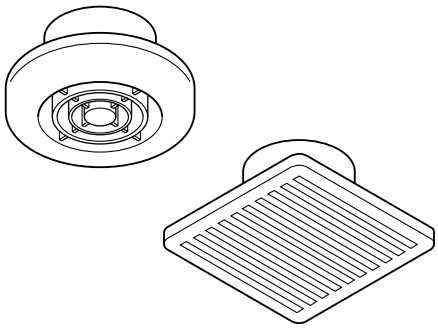
■電源スイッチはFY-SV11W（別売品）をご利用ください。

■結線図に従って正しく結線してください。結線を誤りますと、モーターが過熱し故障の原因となります。

②天井板をはり中間ダクトファンの真下に点検口（市販品：□450mm以上）を設ける。

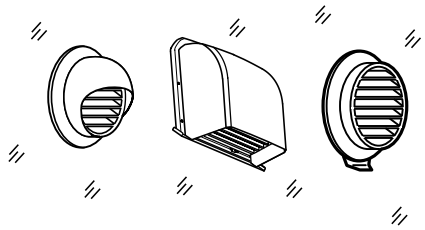


③吸込側には吸込グリル（別売品）を取り付ける。



■吸込グリル（別売品）の施行方法は、吸込グリル（別売品）の工事説明書をお読みください。

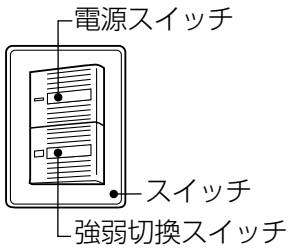
④外壁面には、パイプフード（別売品）またはベントキャップ（別売品）を取り付ける。



■パイプフード、ベントキャップの施工方法はそれぞれの工事説明書をお読みください。

試運転

結線や取り付けに異常がないか確かめる。



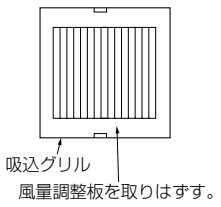
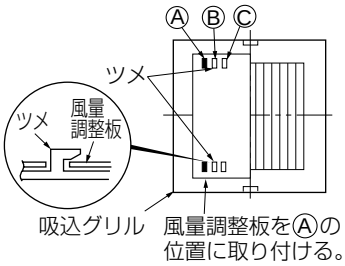
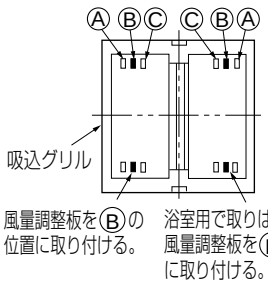
	電源スイッチ	強弱切換スイッチ
通常の換気のとき	入（ランプ赤色点灯）	強
換気量をおさえたいとき		弱
停止するとき	切（ランプ緑色点灯）	

施工方法（続き）

ご参考

浴室・洗面所・トイレの風量調節のしかた

風量比を吸込グリル（別売品：FY-GLP04）を使用して 浴室：洗面所：トイレ=4：2：1 にする場合

<table>
<tr><th>浴　室</th><th>洗　面　所</th></tr>
<tr><td> 
</td><td rowspan="2"> 
</td></tr>
<tr><th>ト　イ　レ</th></tr>
<tr><td> 
</td><td>■風量調整板は出荷時 Ⓒ の位置に取り付けられています。
■この風量調整板の位置は、浴室・洗面所・トイレのダクト抵抗などがすべて同一であるという条件での数値となっていますので、目安としてご使用してください。</td></tr>
</table>

MEMO

優良住宅部品（BL）の保証について

この換気扇は、(財)ベターリビングより優良住宅部品の認定を受けたもので、BLマーク証紙を貼り付けてあります。優良住宅部品が自宅に据え付けられ引き渡されたのち2年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。また、下記の特定部分については優良住宅部品が自宅に据え付けられたのち、3年以内にメーカー責任不良が発生した場合は優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。

特定部分	**羽根、本体**（ただし、モーター等電動機構部品、スイッチを除きます）

ただし、下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。

1. 住宅用途以外で使用した場合の不具合
2. お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3. 当社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の不具合
5. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6. ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
7. 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
8. 消耗部品の消耗に起因する不具合
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

・当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合（瑕疵）が生じ、施工者が無償修理や損害賠償をおこなった場合、BLマークの証紙が貼り付けされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
・BL保険制度の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページhttp://www.cbl.or.jp/）をご覧いただくか、財団法人ベターリビング（TEL 03-5211-0559）にお問い合わせください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511

Ⓒ Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2010

18DPKC401JBL-P0196-10012